

開成小学校が「交通安全優良学校」に

1月16日(金)、全日本交通安全協会が主催する第55回交通安全国民運動中央大会が日比谷公会堂(東京)で開催されました。交通安全の意識向上や啓発を目的に開催される同大会で、児童の交通事故防止に優秀な学校として開成小学校が、安全教育活動を推進したことが評価され、井上實さん(下島)が、それぞれ受賞されました。

環境防災課 ☎84-0314



交通荣誉賞 緑十字銀賞 交通安全功労者・優良安全運転管理者受賞



井上實さん
(足柄交通安全協会参与、下島)

井上さんは、昭和46年から昭和63年まで町交通指導隊、平成16年から平成26年まで足柄交通安全協会に所属し、交通安全の啓発活動に取り組まれました。その功績が認められ、受賞されました。

車を運転する方は、時間と心に余裕をもって安全な運転をするには、交通ルールをしっかり守ることが大切です。当然のことですが、例えば、制限速度よりスピードを出さないよう常に注意することを心掛けるだけで随分違います。

また、焦りがあると、どうしても運転が雑になり、事故を引き起こす原因が高まってしまいます。「時間と心に余裕をもつこと」が大切です。

開成町は、年間交通事故者数「ゼロ」

1月30日(金)、町交通安全対策協議会は、平成26年の年間交通事故者数を「ゼロ」に抑止したことを評価され、神奈川県交通安全対策協議会長より表彰されました。今後も交通安全に努めましょう。



児童の登下校時に、交通安全指導をしている武藤さえさん(交通指導隊長、金井島)に、開成小学校が受賞したことの感想を聞きました。

喜びの声 受賞 おめでとう!

地域ぐるみで交通安全教育

今回の受賞は、昨年の子供自転車神奈川県大会で、開成町が優勝(開成小学校)、準優勝(開成南小学校)をしたことが、きっかけになったのでしよう。しかし、昨年だけの成果ではなく、長年の交通安全教育が認められたのではないかと思えます。開成町は、学校の先生方を始め、地域の方の交通安全教育に対する意識が大変高いです。

正しい交通ルール

私は、子どもたちに、小さい頃から正しい交通ルールを身に付けてほしいと思って活動しています。



登校時の見守り活動

交通安全教育や事故防止活動を積極的に推進
開成小学校の長年にわたる取り組みが評価され、交通安全優良学校として表彰されました。(全国で47校、県内では開成小学校のほか横須賀市立船越小学校)なお、開成南小学校でも同様な取り組みを行っています。ここでは、小学校での交通安全教育の一部をご紹介します。



子ども自転車運転免許講習
町では、学校、警察、町交通指導隊などと協力して、小学4年生を対象に、平成19年度から自転車のマナーやルールを習得してもらうため、子ども自転車運転免許講習を毎年実施しています。講習に参加した児童は、道路標識や自転車の交通ルールを学び、校庭に作られた模擬コースで、松田警察署や町交通指導隊の指導を受けながら、自転車の安全な乗り方を身につけます。学科と実技それぞれでテストを行い、合格した児童に運転免許証を交付します。



自転車大会への出場
町交通指導隊や松田警察署警察官の指導のもと、小学5年生児童のチームが自転車の安全な乗り方大会に出場します。練習を通じて自転車の正しい乗り方や交通ルールを学びます。大会出場後、その成果を全校児童の前で披露します。
自転車の安全な乗り方大会足柄上地区大会では、毎年、開成小学校、開成南小学校ともに優秀な成績を収めています。昨年は県大会にも出場し、開成小学校が優勝、開成南小学校が準優勝しました。